

# 「エコ モビリティ ライフ」推進に係る平成29年度の取組結果について

## 1 「エコ モビリティ ライフ」(エコモビ)に関する普及啓発

### (1) 「エコ モビリティ ライフ」推進表彰の実施

募集期間 平成29年6月6日(火)から8月2日(水)まで

応募団体 7件

「県民の集い2017」(11月8日(水)開催)で表彰式を行うとともに、受表彰団体による取組発表を実施。

受賞団体名	取組の名称及び概要	
市民まるごと 赤い電車応援団 (蒲郡市)	名鉄西尾・蒲郡線の利用促進と存続のため、多様な団体が応援団に加入し、西尾市の団体とも連携しながら、まちぐるみで名鉄の利用やPR活動、イベントの開催などの取組を実施	
萩原町連区 交通協議会 (一宮市)	一宮市が運行するニコニコふれあいバスを維持していくため、長年にわたり、利用者に対するアンケート調査のほか、地元企業からの協賛金の募集、記念イベントの開催などの利用促進活動を行い、地域のコミュニティづくりにも貢献	

### (2) 「エコ モビリティ ライフ 県民の集い2017」の開催

- 「エコモビ」の意義や取組などを広く県民の方々に知っていただくとともに、実践を呼びかけるため、11月8日(水)に愛知芸術文化センターで「県民の集い2017」を開催(参加人数:約180名)。

<主な内容>

- ・「エコ モビリティ ライフ推進表彰」表彰式
- ・受賞団体による取組発表
- ・講演「環境にもお財布にもやさしいライフスタイルのすすめ」  
講演者：和田 由貴 氏(節約アドバイザー)

### (3) 市町村等と連携した実践促進事業

- 県内各地域で市町村や鉄道事業者が実施する公共交通関連のイベントにおいて、啓発用のポケットティッシュやチラシの配布、「エコモビ」に関するクイズ・アンケートや子ども向けのぬりえの実施により、地域住民等に対して「エコモビ」の実践を呼びかけ。

日 程	イベント名
5月20日(土)	名鉄でんしゃまつり(名古屋鉄道株式会社)
9月23日(土)	とよた産業フェスタ2017(豊田市)
2月19日(月) 3月1日(木)	「う・ら・ら」&「エコモビ」達人教室(東浦町)

#### (4) 「あいちエコモビリティライフの日」(エコモビの日)におけるPR及び実践

- ・ 毎月第1水曜日の「エコモビの日」に合わせ、ショッピングセンターでの啓発活動を実施。
- ・ 庁内放送やメール・イントラネット等により「エコモビの日」を周知。
- ・ 「エコモビの日」に合わせ、「エコ通勤デー」を実施。



#### (5) PR資材、広報媒体及び電子媒体を活用した普及啓発

- PR資材(チラシ・啓発グッズ)の活用
  - ・ チラシ(A4判)を配布。
  - ・ ポケットティッシュ、シャープペンシル等をPR活動に活用。
- ウェブサイトの更新やメールの配信
  - ・ 「エコモビ」ウェブサイト【知って得するエコモビ実践ガイド】にてエコモビの効果や、公共交通機関のお得情報を紹介するとともに、協議会構成員宛てにメールニュースを配信。
- 「エコモビ」紹介動画のウェブ配信、同内容DVDの新規協議会加入者への配付
- 広報誌、会報誌などによるPR・働きかけ
  - ・ 消費生活情報紙「あいち暮らしっく」124号(7月発行)に「エコモビ」の記事を掲載してPR。
- 庁内放送などによる「エコモビ」実践の呼びかけ

#### (6) キャンペーン・各種イベント・各種取組などによる普及啓発

- ・ 交通・環境イベントや研修会、各種会議などを活用した普及、啓発を実施。
- ・ リニモ沿線地域において、リニモの体験乗車と沿線施設の講座等を組み合わせたイベント(夏休みリニモ親子教室など)や沿線ウォーキングなどを開催し、合わせて「エコモビ」をPR。

## 2 エコ通勤・エコ通学への転換促進

### (1) 「エコモビ実践キャンペーン」の実施

- 県内の企業、各種団体、行政等で「エコモビ」の趣旨に賛同する団体が、一定期間に「エコ通勤」を中心とした「エコモビ」に自主的かつ積極的に取り組むことで、通勤を含めた業務目的の移動について、全県的に「エコモビ」の実践を推進。

(実施期間) 平成29年11月16日(木)から12月15日(金)まで(30日間)

※12月6日(12月の第1水曜日)を県内一斉「エコ通勤デー」

(参加対象) 県内に所在する企業、各種団体、官公庁等の事業所

(取組内容) ・「エコモビ」情報の周知・実践の働きかけ(必須)

・県内一斉「エコ通勤デー」(H29.12.6)への参加

・エコ通勤の推進

・環境に配慮した自動車利用の推進

(参加事業所数) 3, 304事業所

### (2) エコ通勤・エコ通学の働きかけ

- リニモ沿線地域におけるエコ通勤・エコ通学への転換促進
  - ・リニモ沿線住民や沿線大学の学生を対象に、リニモの利用を促す啓発資料を配布し、公共交通を利用した通勤・通学への転換を促進。
- リニモ沿線レンタサイクルの実施
  - ・リニモ利用者(ともに中学生以上)を対象とした「リニモ沿線レンタサイクル」(無料、70台)を杵ヶ池公園駅近くのサイクルジョイ長久手店にて実施。
- 職員、社員のエコ通勤への転換促進
  - ・エコ通勤実践者に対する報奨制度、エコ通勤に関する補助制度の設定。
  - ・自転車通勤に転換する際の自転車購入費を一部補助。

### (3) 「エコ通勤デー」や「エコ通勤」運動の推進(「エコモビの日」における取組を除く)

- ・各市町村や企業・団体において「エコ通勤デー」を実施してエコ通勤を促進。

## 3 パーク&ライドの普及拡大

### (1) リニモ沿線地域におけるパーク&ライド普及推進

- ・リニモ「愛・地球博記念公園」駅北側の月極P&R駐車場(306台分、月額1,500円)を本県及び沿線市が共同で運営。

### (2) 県内各地におけるパーク&ライドの普及推進

- 旧桃花台線車両基地用地におけるパーク&ライド駐車場の運営
  - ・本県及び小牧市が共有する土地でパーク&ライド駐車場(41台分)を設置して運営。

- 市町村、交通事業者、小売事業者等によるパーク＆ライドの普及推進
  - ・ バスへの乗り換えのため、市役所駐車場を開放（休日）。
  - ・ 保育施設に乳幼児を預けてバスを利用する者を対象とした予約制の駐車場を設置する「保育＆ライド」の実施。
  - ・ 月極駐車料金と通勤定期のセット割引を実施。
  - ・ 大型店舗の既存駐車場を活用した店舗利用型パーク＆ライド駐車場を運営。

#### 4 公共交通利用の動機付け

##### (1) 公共交通の利便性向上に向けた取組の推進

- ・ 公共交通マップの配布やコミュニティバスの運行等による公共交通の利便性の向上。
- ・ 公共交通の乗換案内（経路・時刻・料金等）、運行情報案内サービスの提供。

##### (2) 公共交通利用者への優遇措置の導入・働きかけ

- ・ 「エコモビ」ウェブサイト【知って得するエコモビ実践ガイド（エコモビお得情報）】に公共交通利用者への様々なサービスを掲載。
- ・ 公共交通利用者に対し、観光施設や飲食店等での割引や特典を付与。
- ・ コミュニティバス無料乗車券を配布（対象者・期間限定）。

#### 5 その他

##### (1) 自転車、徒歩などによる移動の推進

- ・ レンタサイクル事業の実施。
- ・ 自転車道の整備、自転車マップの作成・配布。
- ・ 電動アシスト自転車の貸与、購入費の一部補助。

##### (2) 環境にやさしい自動車利用の推進

- ・ EV・PHV、FCVの普及推進。
- ・ 社員駐車場などへのEV充電スタンドの設置。
- ・ エコドライブ・アイドリングストップの推進。
- ・ カーシェアリングの利用。

##### (3) ITS（高度道路交通システム）の推進

- ・ ITSの推進を通じ、公共交通の利用促進、移動の利便性・快適性の向上を推進。
- ・ パソコンや携帯電話で閲覧可能なバスの運行状況案内システム（バスロケーションシステム）の運用。

##### (4) 協議会への加入促進

- ・ 県が実施する総合評価競争入札及び企画競争の一部において「エコモビの推進」を評価項目に設定。（別紙参照）